



# ひまわり通信

2022年 3月 第6号



寒さの厳しい冬が続いたわりに、子どもたちが期待をしていた雪はあまり降ることがなく、少し残念な冬でした。もうすぐ春がやってきますね。ひまわり組も進級に向けて、少しずつ期待を抱きながら生活を送っているところです。『自分のことは自分で…』と分かっているけど、まだまだ甘えたい時もあるひまわり組。一人一人に合わせた声掛けをしたり、励ましたりしながら関わっているところです。

2月といえば節分ですね。おうちに鬼が来た！と楽しそうに話す子もいれば、怖そうに話す子もいて、各家庭、鬼の存在が違うようですね(笑)

2月3日。保育園には優しい鬼が遊びに来ました。自分で仕上げた帽子と升を持って、楽しく豆まきをしました。

豆まきは病気を災厄を鬼に見立てて、それを追い払う儀式とも言われていますが、心の中にある鬼をやっつける意味もあることを伝え、どんな鬼がみんなの中にあるかを話し合いました。おこりんぼう鬼、泣き虫鬼、いじわる鬼・・・ いろんな鬼を見つけることが出来ましたが、一番多かったのは『泣き虫鬼』でした。

少しずつ自分の気持ちを言葉で伝えられるようになってきてはいますが、まだまだうまく伝えられずに泣いてしまう子も多いからかな？とも思いましたが、



自分の弱さに気付けるのもすごいことですね。当日はたくさんの豆を升に入れ、「鬼は外～！福は内～！」と元気な声が響き渡っていました。涙を見せた子も、その後のゲームで笑顔になりましたよ♪

子ども達の心の中にいた鬼は、いなくなったかな？(笑)

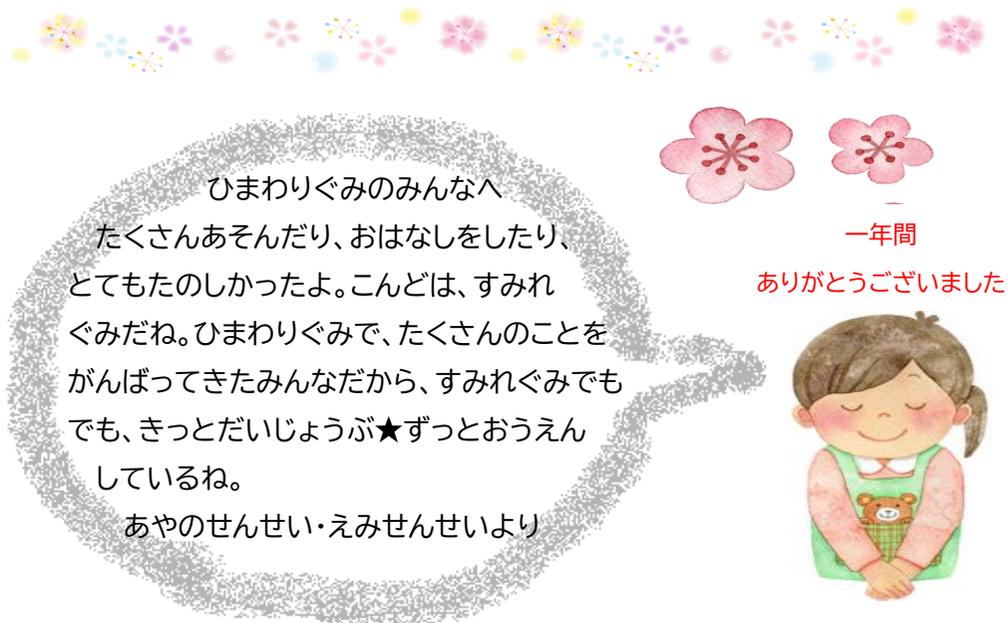
ついに最後のクラス通信を迎えました。進級に向けて期待を抱く子どもたちを見ると、私たちも嬉しくなります。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大もあり、園での行事や活動も制限された中での活動となってしまいました。少し残念な気持ちはありましたが、限られた中でも出来ることを経験し、一つ一つの行事の後はしっかりと成長した姿を見せてくれました。すみれ組に向けて、集団としてのまとまりも出てきました。

きっと進級に向けて心配なこともあるかと思いますが、私たちとしては『いってらっしゃい』という気持ちで、自信を持って送り出せるクラスです。

保護者の皆様には、一年間大変お世話になりました。至らない点多々あったことと思いますが、ご理解・ご協力を頂きありがとうございました。進級当初から人懐っこく、賑やかなクラスで、毎日子どもたちに負けないようにと必死でしたが、とても楽しい思い出が出来ました。大切なお子さまを私たちに預けて下さり、ありがとうございました。

ひまわり組の子どもたちの更なる成長を、応援しています。



ひまわりぐみのみんなへ

たくさんあそんだり、おはなしをしたり、とてもたのしかったよ。こんどは、すみれぐみだね。ひまわりぐみで、たくさんのごちそうをがんばってきたみんなだから、すみれぐみでも、きっとだいじょうぶ★ずっとおうえんしているね。

あやのせんせい・えみせんせいより



一年間

ありがとうございました

